

編 集 後 記

- ☆ 昭和45年11月に創刊して、漸く15号に達しました。まことに悠々たる足どりであったと思いますが、やっと定着してきたような空気が感じられます。
- ☆ 本号は市古先生の文をもって巻頭を飾ることができました。
- ☆ 国連へ派遣されている松本君のインドネシア在勤中の図書館関係についての報告をして頂きました。『図書館雑誌』8月号に東南アジア諸国の図書館特集を行っており、先般首相の東南アジア訪問のこともあって、本号次号に掲載できたことはよかったと思います。秋には青森で公共図書館部会参考事務分科会が開かれ、研究主題に「参考事務をすすめるための協力体制」を掲げており、国内の組織もじょじょに進められておりますが、世界、アジアとこの3つの活動あるいは組織化は、当館としては真剣にとりくまねばならぬ課題ではあるまいかと思われまます。
- ☆ 図書館史、所蔵資料について内外から新しい資料を掲載いたしました。コレクション調査とともに、従来すすめて参りました方面です。
- ☆ 書誌には、スタイン関係文献をとりあげました。本号までの総目次を収めて、既刊内容一覧の資としました。
- ☆ 年内にもう1号刊行したいと努力しております。(朝倉)

参考書誌研究 第15号 昭和52年10月20日発行

編 集 国立国会図書館参考書誌部
発 行 国立国会図書館
東京都千代田区永田町1の10の1 (郵 100)
電 話 581—2331 (代)
印 刷 株式会社 第一印刷所

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載されるばあいには、事前に参考書誌部一般参考課へ連絡してください。